

## 《各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介します》

会津支援学校ではキャリア発達課題として、社会形成能力（かかわる力・コミュニケーション力）を重視しています。以下のように、小学部から経験を積み重ねながら社会形成能力を少しずつ向上させていきます。小学部入学から高等部卒業まで一貫した意識（積み重ね）で支援を継続しています。

今回は社会形成能力の一部の（かかわる力・コミュニケーション力）を取り上げます。

- **高等部** 場に応じた適切な言葉や態度で接し、自分から挨拶したり、気持ちを伝えたりする。
- **中学部** 周囲の人に自分から気持ちを伝えたり、場に応じた挨拶をしたりする。
- **小学部** 自分なりの方法で、挨拶したり、気持ち等を伝えたりする。

「キャリア発達の視点で生徒の能力を育てる」という意識で、同じ能力を段階的に積み重ねます。

☆自己紹介や目標を考えることもキャリア教育です！☆

### <小学部学級開き>

新年度になり、クラスのメンバーも新しくなりました。自己紹介が行われ、自分の名前、好きな食べ物、好きなことなどをよく考えて自己紹介カードを作り、発表しました。新しい友達の話をも、みんな大変興味深く聞いていました。各クラス前の掲示板には多くの自己紹介が掲示され、通りかかった児童が興味深く見ている姿が多く見られました。

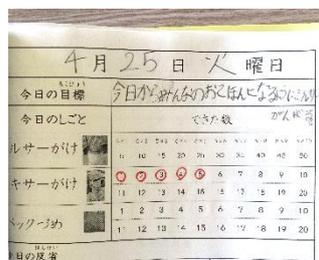
自己及び他者への積極的関心の形成・発展が、高等部段階の自己理解の深化と自己受容につながります。



### <中学部作業学習>

中学部では、4月25日より作業学習が始まりました。3年生の作業日誌には、「みんなのお手本になるようにがんばる。」と力強い決意が表明されていました。

これまでの経験が確実な自信となっており、1・2年生に作業の内容を伝える姿は大変頼もしく、自分のできることを最大限に発揮することができています。



肯定的自己理解と自己有用感の獲得が高等部段階の自己理解の深化と自己受容につながります。

### <高等部職業B・作業学習>

高等部の作業班は、「木工班」、「手工芸班」、「陶芸班」、「リサイクル班」、「農芸班」、「クリーン班」、「サービス班」の7つの班に分かれて学習しています。新しく加わった1年生や昨年度と班が変わった2・3年生は、昨年度まで所属していた各班の先輩方に作業工程を教えてもらいながら活動に取り組んでいます。

手工芸班に新しく加わった生徒からは、「ミシンの糸掛けが難しかったです。」、「報告や確認の際の言葉や話し方などを知ることができました。」、「出来高報告の際、緊張しましたが、みんなの前で発表することができました。」などと今の気持ちや感想が聞かれました。新しい学習活動や環境に早く慣れ、作業学習に意欲的に取り組もうとする姿が多く見られています。

